
2018 年度 事業報告書

特定非営利活動法人
アントレプレナーシッ
プ開発センター

〒604-0866
京都市中京区西方寺町 160-2
船越メディカルビル 3F
TEL:075-468-8907 FAX:075-468-8908

アントレプレナーシップ開発センターが目指すもの:

アントレプレナーシップ溢れる人材育成と社会の実現

目次

はじめに.....	1
2018 年度 活動報告	2
2018 年度 決算報告	2

はじめに

皆様のご支援のもと、2018 年度の事業を無事終了することができましたので、ここに報告させていただきます。

まず、小・中学校でのアントレプレナーシップ教育のモデル授業づくりを目的に 2015 年から実施してきました「京都起業家教育推進事業：ユースチャレンジプロジェクト」は、昨年度も文部科学省の「小・中学校等における起業体験推進事業」を活用して、京都府（亀岡市・南丹市）と京都市から委託事業という形で、小学校 3 校・中学校 2 校の教育実践に参画し、地域を巻き込んだ取組みが定着しつつあります。また、小規模校同志で交流・学び合えるオンライン授業も実施することができ、学校単独でも、事業継続していける仕組みや体制を作ることができました。

次に、民間助成を活用し、小・中学生のリーダー育成として昨年度実施しました「堀商キッズチャレンジ」「子どもが創る起業村～キッズベンチャータウン」も、多くの方に協力頂きながら継続実施することができました。この二つの事業は、参加者から高い評価を得られただけでなく、主催者として子ども達の成長に直接関与でき、より良い教育プログラムを開発する上で、貴重な活動になっております。また、「堀商キッズチャレンジ」は子ども達が「堀商キッズ社」の社員として、堀川商店街を基地に地域の賑わいづくりに貢献していることから、京都市の平成 30 年度京都市はぐくみ憲章実践推進表彰を受けております。

三つ目に、アントレプレナーシップの普及事業として 2004 年から続けております高校生の国際競技「Global Enterprise Challenge (GEC)」は、昨年春に 37 校 34 チームがエントリーし、日本代表に選ばれた 3 チームのうち広尾学園チームが世界大会で 2 位と大変健闘いたしました。そして、今年の 3 月の国内予選には、昨年倍の 67 校 68 チーム、420 名の高校生が参加し、若者達の間でこのような活動への関心が高まっていることが伺えます。一方で、第 18 回目となる「ユース・エンタプライズ トレードフェア」では、全国各地から 20 チーム（小学生 3 チーム、中学生 1 チーム、小・中学生 1 チーム、大学生 15 チーム）が参加し、自分達が考えた商品を出展し、互いに交流し学び合う機会を得ていますが、学校で物作りに費やせる時間が激減するなか、出展校数が伸び悩んでおり、今後新しい形を模索する必要があると感じています。

情報化・国際化が進む社会環境の中で、教育の在り方や働き方も急速に変化してきており、当センターの事業内容も同時に見直していく必要があります。設立当初のミッションを大切にしながら、時代に応じた形で事業展開ができるよう、皆様には、心強い応援者として、引き続きご指導・ご支援賜れますようお願いいたします。

令和元年 5 月

特定非営利活動法人アントレプレナーシップ開発センター
理事長 原田紀久子

1. 事業理解を進めるための調査・研究・情報発信事業

➤ HP、ブログ、Facebook やメールマガジンでの情報発信

随時 HP やブログや Facebook に活動情報や報告を掲載。また、毎月 25 日に約 6,000 人にメールマガジンを配信。

HP アドレス : <http://www.entreplanet.org/>

Facebook アドレス : <https://www.facebook.com/entreplanet>

2. 実践を後押しするための教材・教育プログラム開発や導入支援事業

➤ 京都起業家教育推進事業「ユースチャレンジ」プロジェクト

本事業は、平成 27 (2015) 年度から実施しているもので、平成 30 年度も、文部科学省「小・中学校等における起業体験推進事業」でモデル事業に指定された京都府（亀岡市・南丹市）と京都市から委託を受け、小学校 3 校と中学校 2 校にて、授業や活動の発信（ネット教材「ユース・エンタプライズ」を活用して）を支援しました。

<実施校の内容紹介>

1) 京都市立静原小学校（1～6年生）

静原小学校でも、昨年度に続き、全校生徒が模擬会社「ラ・フォレ SHIZU 社」の社員として、活動しました。この学校では、起業家のお話を聞くと同時に、地域の方々の協力を得ながら、農産物を育てたり、間伐した木材を使ったオリジナル商品を作ったりして、地域の朝市や京都大学の「トレードフェア」で販売しました。また、同様の起業体験活動を行う西別院小学校の児童とテレビ会議を通じ、お互いに学び合い、交流することができました。「トレードフェア」では、地域コミュニティに貢献度の高いチームに送られる「京都経済同友会賞」を受賞しました。

そして、3 月には、児童達が主体となって、お世話になった地域の人たちを招待して、「感謝会」を開催し、「ラ・フォレ SHIZU 社」の事業報告を行いました。同時に、商品の販売で出た収益を活用し、お茶菓子やお花のプレゼントでおもてなししたあと、朝市に掲げる大きな看板を贈呈しました。





2) 京都市立大宅小学校 (6年生 4クラス)

大宅小学校では、昨年度に引き続き、認定 NPO 法人環境市民に導入の講義をして頂き、環境をテーマにリサイクルできる材料で商品を手作りして、京都大学で開催された「トレードフェア」にて代表生徒が発表・販売しました。



3) 亀岡市立西別院小学校 (1年～6年生) & 亀岡市立別院中学校 (1・2年生)

西別院小学校では、本年度も地域の方々の協力を得て、1年生から6年生が協力して米や野菜の生産を行い、4～6年生が中心になって、模擬会社「NISSI カンパニー」を運営しました。授業では、起業家の講師の方の話の参考に、手作り和紙や竹炭を使った商品の開発・販売に取り組みました。

今年度は同様の取組を行う小規模校の京都市立静原小学校とインターネットを使って交流し、互いに学び合うことが出来ました。また、児童が卒業後進学する別院中学校でも起業家の講演を聞いたり、小学生4年生以上と中学生で地域活性化のための事業を提案するワークショップにも取り組みました。





4) 南丹市立美山中学校 (2年生)

美山中学校では、平成 29 年度より継続してこの起業家体験推進事業に参加し、美山の地域に貢献している起業家の方々にお話を伺いました。本事業では、生まれ育った地元の資源を活用して、仕事を作り出せる起業家的素養を育成するとともに、起業家の存在が地域活性化に果たす役割などについても理解する学習を行いました。授業では、美山の魅力を紹介する案内を作成するために、企画会議を行い、完成した紹介案内は観光局の人からコメントをいただいた後、観光案内所に配下していただきました。



3. 能力開発のための研修・講義・講座の提供

▶ 堀商キッズチャレンジ：地域のキッズリーダー育成プロジェクト@堀川商店街

本事業は JT の NPO 助成や堀川商店街協同組合・京都ユネスコ協会の協力を受け、自分達の地域に誇りと責任を持って行動できるリーダーシップある子どもの育成を目的として、昨年度から引き続き、小学生 4 年生から中学生を対象に、堀川商店街にて地域の賑わいづくりに取り組む講座を、夏（6/9～8/18 の隔週土曜日の 6 回）、秋（10/6～12/15 の隔週土曜日とトレードフェアの 7 回）、春（1/26～3/30 の隔週土曜日と 3/21（木）の 6 回）の 3 回開講しました。

活動では、子ども達が「堀商キッズ社」の社員として、地域の人達が交流するイベントの開催やお土産の製作・販売等を企画・実施しました。今年度は、2 年目ということもあり、継続参加している子ども達が率先して動いてくれ、より良い活動へと発展しています。講座開催中は、ホームページでも活動を発信し、多くの人に取組み内容を広報しました。

<夏期講座：6/9～8/18>6/9,6/23,7/21,7/22,8/4,8/18

8 月 4 日に堀商キッズ七夕まつりを開催し、来場者には、手作りの「すごろく」や「福笑い」で遊んでもらったり、お願いごとを短冊に書いてもらったり、楽しく過ごしてもらいました。また、ドリンクコーナーで準備した七夕向けのオリジナルメニューも好評でした。願い事を書いた短冊は、清明神社に奉納しに行き、売上の収益のうち 3000 円を西日本豪雨災害の被災者支援に寄付することが出来ました。



<秋期講座：10/6～12/15>10/6,10/20,11/3,11/17,12/1,12/2,12/15

堀川商店街や近隣の店舗を視察し、売れている商品や客層を調べ、その上で、堀川商店街でどんな商品があれば、お客さんが喜んでくれるか、また堀川地域の魅力発信につながるかなどを考え、「堀商キッズ社」のオリジナル商品を団地の再生テーマである「アートと交流」を打ち出したもので検討しました。結果として、クリスマスに使えるグリーティングカードや台風で倒れた木を使ったマグネット、商店街を知ってもらうための割引サービス付きの地図等を作成しました。そして、京都大学でのトレードフェアでは皆で考えた商品を販売すると同時に木工のマグネット作りのワークショップを行いました。トレードフェアでは、お客さんが選ぶ一番良いお店に授与される「ベストショップ賞」を受賞しました。





<春期講座：1/26～3/30>1/26,2/9,2/23,3/9,3/21,3/30

春の講座では、地域の人達が交流できる「春祭り」を開催しました。特に、小さい子どもが楽しめるように、商店街を紹介したクイズラリーやすごろくを手作りし、カフェコーナーではウクレレの演奏を行いました。また、受け付けでは堀川商店街のお店に協力頂き、割引のついた地図を作って配りました。

商店街の店舗に、ポスターをたくさん貼って頂いたおかげで、ポスターを見たという親子連れの方に大勢来て頂くことができ、ゆっくり遊んで帰ってもらえました。アンケートでの評価も高く、地域の人達に喜んでいただけるお祭りとなりました。



➤ キッズベンチャータウン～子どもが創る起業村

小学年高学年から中学生の参加者 19 名が参加し、10 年後の未来を想定し、発展する科学技術やロボットとの協働を視野に、子ども達が考えた新しい仕事を形にし、その仕事を体験できる起業村「キッズベンチャータウン」を開催しました。今年、ドローンタクシーや何でも相談に乗ってくれる友達ロボット・家庭で楽しめるVR交流ゲーム・無重力体験サービスなどのアイデアが出て、これらの事業を具体化するにあたり、京都大学人工知能研究ユニット／理化学研究所・革新知能統合研究センターの研究員の皆さんに、3D で事業紹介ビデオを作成頂きました。

また、子ども達の新規事業を運営するベンチャー企業で働く社員も、自分達で募集し、10 名の新入社員とともに、事前準備と 12 月 2 日のキッズベンチャータウンの出展当日、一緒に働きました。

キッズベンチャータウンには、200 名近い人が来場し、子ども達が主体的に運営する起業村に対して高い評価を受けることが出来ました。



4.普及促進のためのイベント・セミナーなどの企画・運営

▶ グローバル・エンタプライズ・チャレンジ (Global Enterprise Challenge) 2018

Global Enterprise Challenge(GEC)は、若者の科学技術やイノベーションへの興味を喚起するために、高校生を対象に、2001年にイギリス、スコットランドで始まった国際イベントです。日本は2004年から当センターが窓口となって国内予選を主催し、世界大会に毎年代表チームを送って参りました。そして2016年からは世界大会の主催者として運営に関わっています。

2018年度は日本からは34チームの中から国内予選で選ばれた以下3チームが世界大会に出場し、日本チームは2位と健闘しました。

<日本代表チーム>

- ★HG18: 広尾学園高等学校
- ★Excelsior: 同志社国際高等学校
- ★Kyo Kyo: 京都教育大学附属高等学校

【世界大会】 5/13(日) 8:00AM-20:00PM

<課題 (challenge) > 最新技術を駆使した未来的交通手段における革新的ビジネスプランを提案

「To propose an innovative business centered on a futuristic means of transportation that uses the latest technologies. You may include technologies that are currently still in the development stage. Your business idea must have a minimal negative impact on humans and the environment. Since you will be presenting your idea to potential investors who are interested in a commercially viable product/service, please identify in detail where and how your means of transportation will be used and who the target users are.」

■参加チーム: 15 チーム(9 か国)

■入賞チーム

- ★最優秀賞 (1 位) : Seoul International School (韓国)
- ★優秀賞 (2 位) : 広尾学園高等学校 (日本)
- ★特別賞 : Elite Educational Institute - Richmond (カナダ)



主 催 : 特定非営利活動法人アントレプレナーシップ開発センター

特別協賛 : 京都外国語大学

協 賛 : 有限責任あずさ監査法人京都事務所、株式会社無有、株式会社島津製作所、ニチコン株式会社、日東薬品工業株式会社、株式会社堀場製作所

後 援 : 経済産業省近畿経済産業局、京都府、京都市、京都府教育委員会、京都市教育委員会
京都府私立中学高等学校連合会、公益財団法人全国商業高等学校協会、青少年と科学の会
(公益社団法人京都工業会、一般社団法人京都経済同友会、一般社団法人発明協会京都支部)
国立研究開発法人科学技術振興機構、独立行政法人国立高等専門学校機構

➤ ユース・エンタプライズ トレードフェア 2018 with キッズベンチャータウン

今年で18回目を迎えた本事業は、アントレプレナーシップ育成の教育実践の発表の場を提供するものです。今年のトレードフェアには、全国各地から20チーム（小学生3チーム、中学生1チーム、小・中学生1チーム、大学生15チーム）が参加し、当日は、新しい事業創造を通じて課題解決に挑戦している小学生～大学生の若者達が、日頃の取組を出展ブースやプレゼンを通じて紹介し、他校の取組から学び、また、商品開発と一緒に挑戦するなどして交流を図りました。

<入賞チームの紹介>

●京都府知事賞（社会貢献度が最も高かったチーム）

プルグナ（共愛学園前橋国際大学）

（群馬県の梅「白加賀」を使った「梅ジェラート」を地元企業と共同開発）

賞品：カタログギフト「京もの愛用券」

賞品提供企業：京都府

●京都経済同友会賞（地域コミュニティに貢献度の高いチーム）

ラ・フォレ SHIZU（京都市立静原小学校）

（生徒達が自分達の手で育てたお米や、地域の山の間伐材を使ったアクセサリーや小物）

賞品：松永堂のお香 Lisn（リスン）

賞品提供企業：一般社団法人京都経済同友会

●京都中小企業家同友会賞（ビジネスモデルに新規性や独自性の高かったチーム）

NISSI カンパニー（亀岡市立西別院小学校）

（無農薬の天日干し米や野菜に竹炭のマドラー等、豊かな自然環境を生かした商品開発）

賞品：有限会社山田木工所の「木製ブロックパズル」

賞品提供企業：京都中小企業家同友会

●異能工房賞（実際に起業するなら応援したいチーム）

めじらぼ（目白大学）

（子供達が身近なゴミ問題をどうやって解決するか、ゲームを通じて学べる学習キット）

賞品：グーグルホーム、グーグルホームミニ、スマート家電コントローラ

賞品提供企業：異能工房(コワーキングスペース)

●青少年と科学の会賞（ものづくりにおいて新しい発想があったチーム）

O-leaf（共愛学園前橋国際大学）

（オリーブの葉を使った女性の美肌作りに貢献するベーグル）

賞品：トイドローン Tello（テロー）

賞品提供企業：青少年と科学の会

●スチューデント賞（生徒が選ぶ一番よかったチーム）

SUNRICE（共愛学園前橋国際大学）

（若者の米離れの解消と地元の米の知名度を上げることを目的としたパンやスコーン等）

賞品：雑貨セット

賞品提供企業：よーじやグループ

●ベストショップ賞（一般来場者が選んだ一番よかったチーム）

堀商キッズ社（堀商キッズチャレンジ）

（堀川商店街の割引付き紹介の配布、木を使ったマグネット作り体験ワークショップ等）

賞品：おめでとう三笠（各チーム50個詰め合わせ）

賞品提供企業：株式会社井筒八ッ橋本舗

●特別賞

緑育社（共愛学園前橋国際大学）

（群馬県産の有機栽培された小松菜と小麦粉を使ったクッキー）

賞品：電子体温計 けんおんくん

賞品提供企業：オムロンヘルスケア株式会社

●特別賞

HIKAmaker（同志社女子大学）

（子供たちに「忘れられない思い出」を提供するファッションショー）

賞品：京都シネマ招待券

賞品提供企業：株式会社如月社（京都シネマ）

●特別賞（キッズベンチャータウンのベストカンパニー）

4 Sense VR

（自宅にしながら、離れた家族や友達と一緒に体験して遊べるVRゲーム会社）

賞品：おめでとう三笠（各チーム50個詰め合わせ）

賞品提供企業：株式会社井筒八ッ橋本舗



■協賛■

□寄付協賛：株式会社無有、株式会社エスユーエス、株式会社エフタイム、京都信用金庫、株式会社島津製作所、株式会社 SCREEN ホールディングス、株式会社ヘルプ、株式会社山田製油

□広告協賛：株式会社井筒八ッ橋本舗、京都中央信用金庫、株式会社土井志ば漬本舗、よーじやグループ

□商品協賛：株式会社井筒八ッ橋本舗、異能工房(コワーキングスペース)、オムロンヘルスケア株式会社、株式会社如月社（京都シネマ）、よーじやグループ

■後援■

経済産業省、厚生労働省、文部科学省、京都府、京都市、京都府教育委員会、京都市教育委員会、一般社団法人京都経済同友会、公益社団法人京都工業会、公益財団法人京都産業 21、京都中小企業家同友会、一般社団法人京都発明協会、青少年と科学の会、京都府立高等学校 PTA 連合会、京都市 PTA 連絡協議会、京都府私立中学高等学校保護者会連合会、京都府私立中学高等学校連合会、全国中学校進路指導・キャリア教育連絡協議会、公益財団法人日本進路指導協会、公益財団法人全国商業高等学校協会、日本キャリア教育学会、一般社団法人日本教育情報化振興会、日本社会科教育学会、特定非営利活動法人日本シミュレーション&ゲーミング学会

5. 起業や事業運営に関わる研修やコンサルティング事業

▶ アジア太平洋障害者連携フォーラム 2019 企画サポート(公益財団法人日本障害者リハビリテーション協会(JSRPD)委託事業) フォーラム開催は 2019.2.2-3

JSRPDでは、以前、研修生として来日していたアジア太平洋地域の障害者当事者リーダー達を招き、障害者の権利保障だけでなく、如何に収益を生む事業を作りだし、障害者の自立を促進するかについて意見交換するフォーラムを検討されていて、その企画支援や当日フォーラムのセッションを当センターで担当しました。



▶ アイデアワークショップ(一般財団法人 品川ビジネススクラブ委託) 2018.8.6

品川区の小学生高学年～中学生を対象に、新しい子ども向けのサポートビジネスを提案するワークショップの企画・実施を行いました。短時間の間に、楽しいアイデアが出てきていました。実現するといいですね。



▶ 公益信託アジア・コミュニティ・トラスト(ACT)助成事業報告会 2018.8.19

ソーシャルリーダー育成・交流事業 Gerakan Mari Berbagi(共に分かち合う)Japan プログラムの立上げ時の 2015 年～2016 年と 2 年間助成頂いた ACT の「アジア民衆パートナーシップ支援基金」の活動報告会に、報告者として参加させて頂きました。この基金では、意義ある活動を応援されていて、学ぶことの多い機会となりました。

▶ 枚方市立山田中学校区小・中合同研修会 2018.8.22

教員の方の夏の研修会にて、アントレプレナーシップ教育の紹介をさせて頂きました。

▶ 府中市立府中明郷学園「地域に開かれた教育課程検討委員会」研修 2018.8.30

府中市に初めて設立された小・中一貫の義務教育学校「府中明郷学園」は、コミュニティスクールとして、学校運営協議会の皆さんと一緒に、アントレプレナーシップを推進する教育活動に取り組み、その実施のための指導者研修会に講師としてお招き頂きました。

▶ 丹波市アントレプレナーシップ教育研究室 研修会 2018.10.4

丹波市教育委員会では、アントレプレナーシップ教育の実施に向けた研究会を立ち上げられ、メンバーの先生方への導入研修を当センターで実施いたしました。

6. その他

▶ 20周年記念パーティ 2018.7.14

当センターが1998年に事業を始めて20年、特定非営利活動法人になってから15年を無事終えることが出来、その記念として、祝いの会を総会と一緒に設けさせて頂きました。センターの活動に参加して成長した子ども達も含め、多くの支援者の皆様方と一緒に、この日が迎えられたことを、御礼申し上げます。



▶ インターン生の受け入れ

特定非営利活動法人 ドットジェイピーから研修生として同志社大学政策学部2年の学生さんを2月～3月にかけて受け入れました。

7. メディア掲載等

- ・ 2018年6月5日 京都新聞 「七夕イベント企画体験講座」
- ・ 2018年6月10日 京都新聞 「小学生、七夕祭り企画 上京・堀川商店街 アイデア練る」
- ・ 2018年8月2日 京都新聞 「堀商キッズ・七夕祭り」
- ・ 2018年8月5日 京都新聞 「子ども「会社」客をもてなし 七夕のメニューで」
- ・ 2018年11月2日 京都新聞 「初のテレビ会議 互いの商品紹介 起業家教育、交流深める」
- ・ 2018年12月3日 京都新聞 「小中学生や大学生企画開発 アイデア商品アピール」
- ・ 2019年3月22日 京都新聞 「堀川商店街 遊びの一日 児童ら企画「春祭り」」

<協賛・助成団体>

株式会社 無有	
	
	
	
	
	
	
	
	

<その他の協賛団体>

株式会社井筒八ツ橋本舗、京都中央信用金庫、株式会社土井志ば漬本舗、異能工房（コワーキングスペース）、オムロンヘルスケア株式会社、株式会社如月社（京都シネマ）、よーじやグループ

<会員・賛助会員>

青山 和典、石塚 実、伊藤 剛和、岩田 晋一、大口 達夫、岡村 充泰、黒澤 敏朗、酒井 朋久、阪内 悠一、澤田 有紀、志賀 都子、首藤 晴美、白石 秀知、鈴木 三朗、鈴木 滋朗、高岡 美穂、谷孝 大角田 隆太郎、中澤 弘、西川 昭寛、西岡 正子、長屋 博久、濱野 康子、濱野 希望、真庭 功、光田 信吾、森木 隆浩、黄 錦豪、山本 桂子、井谷 千英、太田 孝志、木村 哲也、下村 委津子、田中 絵里加、津崎 桂子、中塚 祐起、中西 礼皇、中根 敏雄、西澤 祐二、西田 喜久夫、濱 健志朗、平田 三樹子、藤原 未来、文能 照之、堀田 芳子、松田 稔樹、森 義晴、山崎 真嗣、横井 和彦

<ボランティアスタッフの皆様>

赤松 侑、井上 莉緒、梅原 漱大、大崎 晴加、太田 孝志、大地 南菜、黒澤 敏郎、小林 章一、下村 委津子、曾根 倅輔、高橋 佳花、田中 絵里加、田辺 直子、福田 貴子、藤原 未来、宮脇 裕、星野 寛、山口 裕子、吉田 葉月、米田 果恵

2018年度 決算報告

Financial Report

平成30年度「特定非営利活動に係る事業」活動計算書

自 平成30年4月1日 至 平成31年3月31日

(単位：円)

科目	金額	
I 経常収益		
1. 受取会費		
正会員受取会費	420,000	
賛助会員受取会費	66,000	486,000
2. 受取寄附金		
受取寄付金	1,851,568	1,851,568
3. 受取助成金等		
受取助成金	2,426,443	2,426,443
4. 事業収益		
教育教材開発・導入支援事業収益	3,723,748	
普及促進事業収益	1,089,439	
研修・講座事業収益	535,560	
その他	2,187,400	7,536,147
5. その他収益		
受取利息	199	199
経常収益計		12,300,357
II 経常費用		
1. 事業費		
(1) 人件費	7,579,129	
(2) その他経費	4,029,087	
事業費計		11,608,216
2. 管理費		
人件費	555,851	
(1) その他経費	683,098	
管理費計		1,238,949
経常費用計		12,847,165
当期経常増減額		-546,808
III 経常外収益		0
IV 経常外費用		0
経常外費用計		
税引前当期正味財産増減額		-546,808
法人税、住民税及び事業税		70,000
当期正味財産増減額		-616,808
前期繰越正味財産額		19,393,367
次期繰越正味財産額		18,776,559

平成 30 年度「特定非営利活動に係る事業」貸借対照表

平成 31 年 3 月 31 日現在

(単位：円)

科 目	金 額	
I 資産の部		
1 流動資産		
現金	206,827	
普通預金	24,223,399	
未収入金	2,000,800	
流動資産合計		26,431,026
2 固定資産		
保証金(敷金)	500,000	
固定資産合計		500,000
資産合計		26,931,026
II 負債の部		
1 流動負債		
未払金	2,812,946	
前受受益	220,000	
預り金	321,521	
流動負債合計		3,354,467
2 固定負債		
退職給与引当金	4,800,000	
固定負債合計		4,800,000
負債合計		8,154,467
III 正味財産の部		
前期繰越正味財産		19,393,367
当期正味財産増加額		
当期収支差額	(616,808)	(616,808)
正味財産合計		18,776,559
負債及び正味財産合計		26,931,026

平成30年度「特定非営利活動に係る事業」財産目録

平成31年3月31日現在

(単位：円)

科 目 ・ 摘 要	金 額	
I 資産の部		
1 流動資産		
現金 現金手元有高	206,827	
普通預金 京都銀行西五条企業会館支店	874,083	
京都中央信用金庫西大路五条支店	22,731,188	
ゆうちょ銀行(当座預金)	618,128	
未収入金	2,000,800	
流動資産合計		26,431,026
2 固定資産		
保証金(船越メディカルビル事務所保証金) 京都市中京区両替町通丸太町南入西方寺町160-2 船越メディカルビル 3F	500,000	
固定資産合計		500,000
資産合計		26,931,026
II 負債の部		
1 流動負債		
未払金	2,812,946	
前受受益	220,000	
預り金	321,521	
流動負債合計		3,354,467
2 固定負債		
退職給与引当金	4,800,000	
固定負債合計		4,800,000
負債合計		8,154,467
正味財産合計		18,776,559